

### 「学び、教え合う」コミュニティ

地元の図書館から借りてきた本に新たな出会い。

参考著書 2020年—これから10年、活躍できる人の条件 神田昌典 PHP ビジネス新書

この本は、2～3年前に一度読んでいます。

でも今回、偶然か必然かわかりませんが、面白そうだからと手に取り借りてきた本です。

でも、本にはタイミングがあるのですね。

「腑に落ちる」「なるほど実感」という・・・時が。

これも全て、「出逢い」です。

とても気になった個所が下記の内容です。ご紹介します。

### 全国規模の読書会——学び、教え合うコミュニティ

誰もが教え学び合うことが普通に行われるようになったら・・・

教育を学校だけでなく、地域コミュニティ全体で、当たり前に行うようになったら・・・

これは日本の教育の歴史において、新しいページを開くことになるだろう。

TED は、そうした教育の未来を垣間見させてくれる米国発の活動だが、日本発の活動として私の仲間たちがはじめたのが、リード・フォー・アクション (RFA)。

この活動は「読書で繋がり、力を変える」をコンセプトに行っている全国規模の読書会だ。

単に読書を面白かったと「個人的」なものに終わらすのではなく、そこから最終的には社会に役立つ行動につなげていくことを目指している。

(中略)

ファシリテーターが中心になって、RFA を開催。参加料金は会場の実費代程度のことが多く、1000～2000円。映画1回分ぐらい。利益を上げるために行っている訳ではない。

それでは、なぜ？

教える者が、一番学べるからだ。

開催するたびに、自分が知りたい本や課題について、参加者と一緒に理解を深められる。

その理解をさらに行動につなげるために、ファシリテーターは異なる意見を取りまとめ、問題解決の方向性を見出していくプロセスを短期間に何度も何度も経験する。

まさに変革リーダーになるための最適なトレーニングなのだ。

本をきっかけに未来を創造していく現場にすることが、ファシリテーターにとってなによりのご褒美なのだ。

### 知識創造時代における、成長の4段階

**Step 1 Information** 個人にフォーカス、個人能力、スキルアップ

**Step 2 Interformation** 身近なチーム、自分で自分を知る

**Step 3 Exformation** 自分の世界を外に創りはじめる

**Step 4 Transformation** それぞれが世界観を持っている人とつながる

これが読書会によって、参加者が知識創造社会で活躍するリーダーになっていくまでの進化の道筋  
まず、インフォメーション。

さまざまな世代や背景の人が集まるので、まずお互いを知り合うために、本をきっかけに対話を開始する。お互いの関心ごとを聞くうちに、自分の本を読もうとする目的も明確になってくるので、短時間で概要をつかめるようになる。

次の段階がインターフォーメーション。

インターとは交差するという。前段階で得られた知識を交差させる（分かち合う）ことで、自分の本だけでなく、他の参加者の本の概要も理解する。

又、お互い質問し合うことで、さらに本の理解を深めていく。

3番目の段階は、エクスフォーメーション。

これは本から得た情報を発信する段階。

本の要約や、自分の感想や意見を人に発表する。

自分の言葉で話すことによって、急速に、本から得た知識が血肉になってくる。

単なる情報の受け売りではなく、自らの経験を通して、自分の知識として伝えられるようになる。

自分の意見が持てるようになると、それを外に向かって発表したくなる。

ブログを書いたり、著者として発表したり、またTEDのように人前で話したいという欲求が生まれてくる。

そして最後の段階である。トランスインフォメーション。

第3段階のエクスフォーメーションを行った人たちのまわりには、さまざまな人が集まってくる。

同じ世界観を持っている人同士が共鳴し合い、FacebookをはじめとしたSNSでつながりはじめ

る。このようにコミュニティを持つリーダーたちが対話し、社会的問題を解決していくために連携しはじめると、現実も変化しはじめる。

それが社会変革——トランスフォーメーションへとつながっていく。

### <コメント>

いかがでしたか？

あなたはどんなことを感じましたか？

最近、TEDにはとても興味があります。

たった18分以内。この時間で何を伝えるか？

このTEDからビジネスのヒントがいっぱいもらえます！

自分たちで、TEDのようなプレゼンテーションをすると、どうなるのか？

私は顧問先の研修でも、積極的に参加メンバーたちにプレゼンテーションをしてもらっています。

なぜか？

今、求められているものが変わったのです！

「教わる」教育は、20世紀の成長社会では有効でした。

情報処理力が必要でした。知識・経験が価値でした。

その時代は正解主義。みんな一緒が良かった時代。

今。現代では「学び合う」、つまり、つなげる力が重要です。

情報編集力です。

個人個人それぞれ一人ひとりの知識や経験をつなげ、新しい価値を創造する時代です。

だから正解よりも納得。みんな違ってOKなのです。修正していくのです。

これが21世紀の成熟社会の生き方です。

つまり人生観が変わったのです。

そういう意味で、学習する組織では、メンバーがそれぞれプレゼンすることで自ら学び、お互いが学び合い、進化成長していくチーム学習となっていくと実感しております。

テーマを与えて、自らプレゼンする。そしてバリューアップ・フィードバックすることで、お互いに成長していく、そんな場を多く創りたいと考えています。

それが私の役目なのでは？・・・と感じるこの頃です。